
男の独白

ハト

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

男の独白

【Nコード】

N8845K

【作者名】

ハト

【あらすじ】

桜桃と言えば太宰らしい。作品にそんな題名があるからとか、誕生日ついでに死亡記念日がそう呼ばれているからだとか、いろいろあるがとにかく、世間様では桜桃とはつまり太宰なわけだ。

桜桃と言えば太宰らしい。作品にそんな題名があるからとか、誕生日ついでに死亡記念日がそう呼ばれているからだとか、いろいろあるがとにかく、世間様では桜桃とはつまり太宰なわけだ。そのうち太宰に使う代名詞は、「彼」じゃなくて桜桃に成るのではなからうか。そうなる太田静子の代名詞は斜陽夫人、山崎富栄はグッド・バイ夫人だ。でも、グッド・バイは未完成だから、未完夫人でもいい気がする。蜜柑夫人とすると、なにやら甘酸っぱい。

「桜桃は、嫌がる蜜柑夫人の秘蜜にするりと指を滑り込ませた」
何だか情緒的ではないか。これは良い。ついでに指を蔓に変えて見るともつと良い。チェリーとオレンジの異種姦物が完成だ。イシユカン物、コトナリダネ物どっちで読んでも良い。とにかく二つの果実は無計画な性交の後に一つになり、オレンジ色の小さなシャム双生児を授かるだろう。彼らの肌はきつとでこぼこに違いはない、でもその肌はとても繊細で弱いのだ。奇形の我が子を悲しむチェリーとオレンジ、湯だった水飴に飛び込んで、しまいにデロデロな甘さの自己満足のジャムになるだろう。あんまりに甘いから、パンにも合わず、クッキーにも使えない。そんなジャムは紅茶に入れると良さそうだ。アールグレイに入れると良い。そうすれば、風情のないオレンジの残骸は全て消えて、チェリーの風味だけが残るだろう。そんな純愛の紅茶を飲んだ、デロデロの桜桃みたいな君の唇に、キスをしたい。そんな自分は斜陽夫人。

（後書き）

ご意見ご感想等よろしく願います

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8845k/>

男の独白

2010年10月15日22時43分発行